

株式会社アイシス

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年3月31日



大垣共立銀行とOKB 総研は、株式会社アイシス（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB 総研が開発した評価体系に基づいている。

---

## 目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社アイシスの企業概要 .....	1
(2) 株式会社アイシスの事業概要 .....	4
(3) 経営理念 .....	10
(4) サステナビリティ.....	11
2. インパクトの特定 .....	12
(1) バリューチェーン分析.....	12
(2) インパクトマッピング .....	12
(3) インパクトレーダーによるマッピング .....	13
(4) 特定したインパクト.....	15
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認 .....	17
3. インパクトの評価 .....	20
4. モニタリング.....	22
(1) 株式会社アイシスにおけるインパクトの管理体制.....	22
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング .....	22

---

## 1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

### (1) 株式会社アイシスの企業概要

企業名	株式会社アイシス
創業・設立	1975年2月21日
代表者名	内藤 良宏
資本金	28,875 千円
従業員	36 人 (2026 年 1 月時点)
売上高	1,863 百万円 (2025 年 2 月期)
事業拠点	本社・工場 名古屋市西区新木町 1 番地 横浜事業所 横浜市神奈川区西寺尾 2-38-11-206
事業内容	精密機械及び関連機器の製造・販売
関連会社	株式会社アイピーエス (メンテナンス事業)

### <本社>

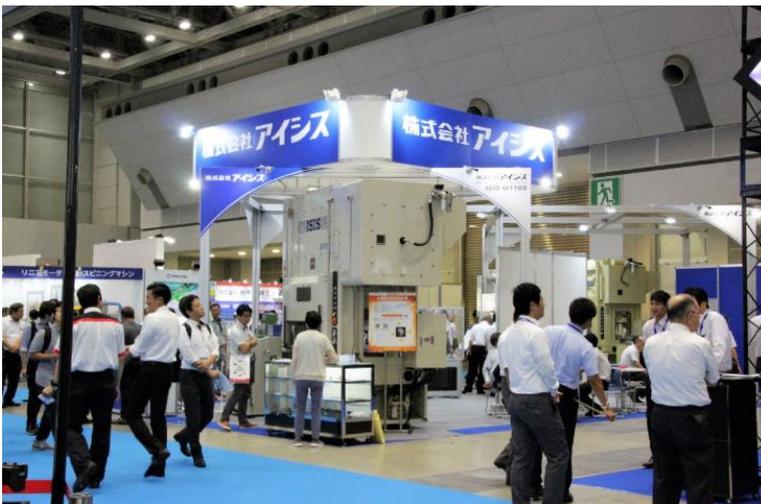


## &lt;沿革&gt;

1975年	株式会社山田ドビーより分離独立し、 株式会社山田ドビー販売を創業（資本金 3,000 千円）
1977年	社名を株式会社山田プレス販売に変更 山田ドビーのプレス機を販売しながら自社製品の開発を開始
1978年	山田ドビーからプレスメーカーとして独立（自社開発プレス機 1 台目を販売） 資本金を 6,000 千円に増資 大阪国際工作機械見本市に出品
1980年	資本金を 12,000 千円に増資
1981年	名古屋市西区新木に工場移転
1982年	空調設備と三次元測定機を導入
1984年	社名を株式会社アイシスに変更 東京国際見本市に出品
1987年	プレス機生産台数 1,000 台達成
1989年	本社を新木工場に移転 資本金を 28,875 千円に増資
1991年	株式会社アイピーエスを設立
1992年	「プレス機械用ダイセットの空間変異測定方法及び装置」の特許を取得
1994年	プレス機生産台数 2,000 台達成
1996年	「プレス材料送り異常検出装置」の特許を取得
1998年	松下電工株式会社（現パナソニック）と「プレス装置（線材複合高速加工）」の 共同特許を取得
2000年	香港金属加工展に出展 東海豪雨による浸水被害
2001年	シンガポール工作機械見本市に出展 大型三次元測定機および恒温室を導入 技術棟を新築
2002年	プレス機生産台数 3,000 台達成
2003年	新工場稼働
2004年	上海での展示会に出展

2005 年	本社総務営業棟を新築
2006 年	中国で商標登録を取得「ISIS」「愛西施」
2007 年	タイ・バンコクでの工作機械展示会に出品
2011 年	韓国・仁川での工作機械展示会に出品
2012 年	プレス機生産台数 4,000 台達成
2017 年	現代表者が代表取締役役に就任
2018 年	上海工作機械展示会に出品
2019 年	深圳工作機械展示会に出品 MF-TOKYO2019 に出展
2023 年	SBT 認証取得
2024 年	加工課を新設 プレス機生産台数 5,000 台達成
2025 年	素形材産業経営賞・技術賞・産業デザイン財団賞を受賞
2026 年	健康経営優良法人 2026 の認定を取得

<MF-TOKYO2019 に出展>



## (2) 株式会社アイシスの事業概要

### 【事業内容】

高速精密機械プレス機の製造・販売を行っている。同社のプレス機は、コンピュータや携帯電話等の弱电製品の部品、自動車部品等の生産に使用されている。

### 【取扱商品】

- PLENOX シリーズ

三次元測定器（被測定物の長さ：3m）、レーザー測定器（被測定物の長さ：10m）を使って機能部品を測定。組み立て後の平行度、直角度、総合隙間は JIS 超特級（JIS）を実現。トリプルリンク・フォースクランクで支持されるスライドは、偏心荷重、集中荷重に対して傾き、たわみが極めて小さく、金型の長寿命化が可能。



- VIVO シリーズ

エキセン 2 軸を並列に配列したダブルリンクの高速プレス。対向し回転するエキセン軸及び軸廻りの部品はどのタイミングでもバランスが取れ、スライド（=上型）の慣性力によるスラスト方向の力は派生しない。スライドとコンロットの連結ピンは前後方向に配置されており、スライドが前後に揺動する自由度はほとんどない。



- U シリーズ

超高速シリーズで、熱変化及び動的精度が高くミクロの精度を追求。主要箇所到低熱膨張合金を採用、JIS 規格特級の 1/3 の総合隙間により安定した製品精度、精密金型の超寿命化を実現。

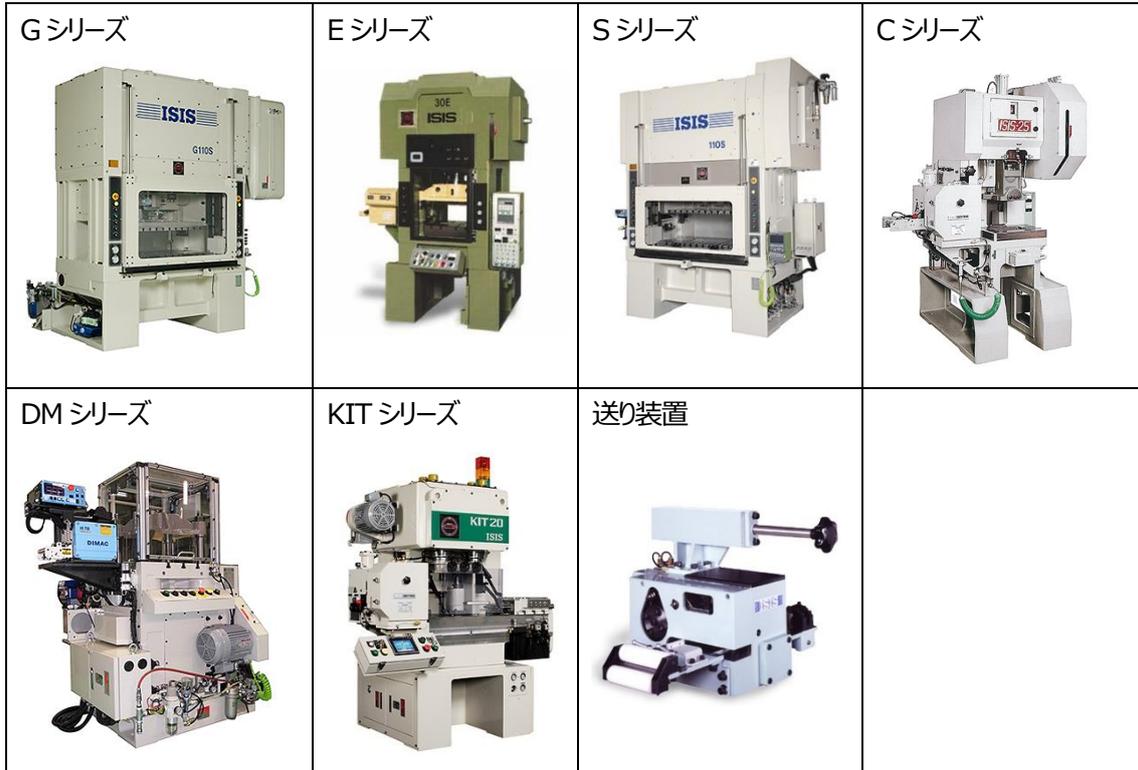


- N シリーズ

時代のニーズに応え、コストパフォーマンスを追求した高性能機種。実績ある U シリーズと同じ構造を採用。



• その他



<工場内>



【品質管理】

- 信頼を届けるため、同社ではすべての部品を最新の測定器で厳しくチェックしている。  
プレス機の大型化に伴い、大型の測定機も導入。部品単体の精度はもちろん、各揺動部のスキマバランスを保ち、総合スキマを極小化することで、組立精度のバラツキが少ないプレス機を提供している。

<検査の流れ>



<三次元測定機>

- 測定部品自体に基準面を設定できるため、正確な測定が可能
- エアーベアリング採用で精度維持が容易
- 空気圧除振台設置で余分な振動を吸収



<真空度測定機>

- 空気圧除震台を採用
- テーブル回転精度を高めるエアベアリング装備
- 困難な芯だし、水平だしも自動で制御。より高精度な測定が可能



【同社の強み】

- 創業当初から「精密で高性能な高速プレス技術」を追求し続け、他社にない独特な仕組みを構築して、あらゆる産業分野において信頼性の高いソリューションを提供し続けている。

<過去の事例>

- 顧客と共に創る、世界最速の線材複合機
  - 最適解を追求し、カタログにないものはオーダーメイドで提供 –

線材とコイル材を用いた複合加工において、加工スピードと精度をさらに高めたいという顧客の要望を受け、機械構成をともに検討し、共同特許を取得。世界最速の複合加工機を共同開発した。意見交換と試作を重ねながら、時代に応じたセッティングの簡易化にも取り組み、現場の課題に応える加工機をカタチにした。
- 微細領域に挑む、横型プレスの開発
  - 微小部品加工に求められる部品精度と部品回収 –

米粒のような微小部品をいかに回収するかという課題を受け、「プレス機を横に倒して使用したい」という顧客の要望があった。単に倒すだけでなく、金型に合わせて狭小スペースで安定した生産を行うことをテーマに、「厳しい精度と高い量産性」の両立を目指す設計思想のもと、専用フレームの設計から着手し、独自の機構と制御技術によって実現した。
- 静かなる力を極める
  - 加工時に揺れないプレスは作れるか –

周辺機器や搬送・供給装置、さらには周辺環境への影響を減らしたい、とにかく振動の少ないプレス機を作りたいというテーマから、機械の稼働部におけるバランス設計や全体の重量バランスを綿密に計算。金型設計も含めて徹底的に最適化したことで、加工時の振動を大幅に低減させるとともに、加工スピードの工場、高精度かつ高品質な加工を実現した。

- 高剛性・高精度な加工を実現する高速自動プレスの開発に関わる 50 年間の取り組みと実績が評価され、同社の技術開発論文が素形材産業技術賞、素形材産業経営賞と産業デザイン財団賞を受賞し、素形材月間記念式典において表彰された。

素形材産業経営賞

一般財団法人素形材センター会長賞



産業デザイン財団賞



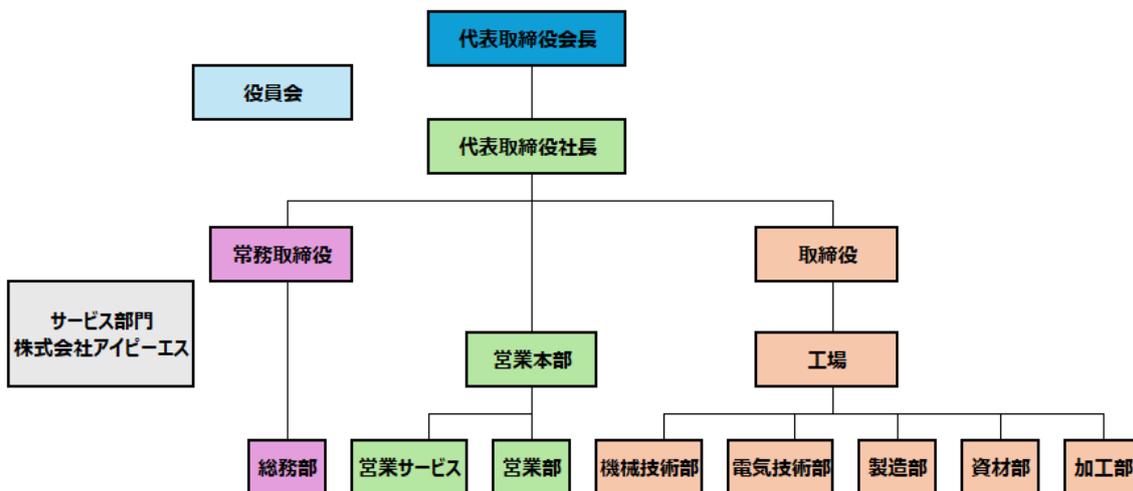
素形材産業技術賞 経済産業省製造産業局長賞



【今後の展開】

- 顧客のニーズが多様化し、加工技術が高度化している背景を受け、単にプレス機単体の品質や提供だけでなく、プレス機の性能を最大限引き出す加工技術や金型、工具、ソフトウェアなどを含めたワンランク上のソリューション提案に力を注いでいく。
- 同社の顧客リピート率は 8 割と高く、用途や素材に合わせたカスタマイズに柔軟に対応し、顧客と長期的な関係を築いている。今後も、他社にはできない部分まで対応することでリピート顧客を確保し、安定した受注を獲得していく。
- 素形材産業経営賞・技術賞・産業デザイン財団賞を受賞したことにより自動車部品メーカーからの問い合わせや工場見学の依頼が入るようになった。現在の売上内訳は、家電製品向け商品 70%、自動車部品向け商品 30%だが、今後は、自動車部品向け商品の比率を 40%まで増やし、トータルの売上増加につなげていく。
- 精度が必要な重要部品の一部を内製化するための加工課を新設し、3名の専属技術者を新たに採用。更なる精度向上、効率化を図り、新時代の高精密・高品質なプレス機を提供していく。

【組織体制】



### (3) 経営理念

同社は世界中で急速に進化する技術や市場の変化に対応し、同社の製品がさらに高いレベルの品質と信頼を提供できるよう、以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

#### 【基本理念】

技術革新と品質第一

#### 【社是】

モノづくりで世界の未来づくりに貢献する

#### 【社訓】

- ・グローバルな視野で事業を展開し、世界の市場を勝ち抜く
- ・技術革新と品質を極め、世界に誇る製品を提供する
- ・常に挑戦し続け、新たな価値を創造する
- ・安全・安心な職場を守り、社会に貢献する

#### 【社名の由来】

同社を取り巻く社会と、関わっている企業の方々の幸福・発展を願い、

エジプト神話における豊穡の女神 ISIS（イシス）からその名前をとり、社名とした。



#### (4) サステナビリティ

同社は、企業活動を通して、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを行っている。

- スキルアップ支援

業務上有効と考えられる一級技能士や二級技能士等の資格取得については、社内で資格を有する先輩社員が率先して勉強会を実施し資格取得を励行している。また、受験費用は会社負担とし、合格者には報奨金も支給している。OJT 体制の整備に加え、インターネットによる勉強会への参加を励行し、業務に必要となるスキルを習得するとともに、新しい考え方やトレンドを吸収できる環境を整備している。



- 人事評価制度

代表者や部長との個人面談・打ち合わせを通じて目標設定と振り返りの機会、自己の成長を確認できる機会を創出している。

- 環境への取り組み

同社の施設は、EnneGreenによる良質な再生可能エネルギー電気を使用しており、脱炭素社会に貢献している。

- 働きやすい職場環境づくり

忘年会、社員旅行など各種イベントを開催し、社員間におけるコミュニケーションの活性化に注力している。また、安心して働けるよう健康経営を推進し、2026年3月、健康経営優良法人2026を取得した。

<50周年記念社員旅行>



## 2. インパクトの特定

### (1) バリューチェーン分析

- 同社は、高速精密機械プレス機の開発・製造・販売をしている。同社は、多様な機種ラインナップを取り揃え、用途に応じた精度・剛性・高速性を追求した製品を提供している。主要構成部品については、三次元測定機やレーザー測定機などを用いた高精度な測定により、組立後の平行度や直角度を超特級レベルで管理するなど、徹底した品質管理体制を強みとしている。
- 同社のプレス機は、コンピュータ・携帯電話などの弱電分野の部品製造をはじめ、家電製品、自動車部品の生産現場など幅広い産業で活用されている。高精度・高剛性かつ高速加工にも対応できる点が評価され、微細加工から大型部品の生産まで多様な製造ニーズに応えている。



### (2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「金属成形機械及び工作機械製造業（国際標準分類：2822）」とする。
- 川上の事業を、「金属成形機械及び工作機械製造業（同：2822）」とする。
- 川下の事業を、「金属の鍛造、プレス、打ち抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業（同：2591）」、「電子部品及び基板製造業（同：2610）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

### (3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			川上の事業		同社の事業		川下の事業				
業種 (国際標準産業分類コード)			金属成形機械及び 工作機械製造業 (2822)		金属成形機械及び 工作機械製造業 (2822)		金属の鍛造、プレス、打ち抜き 及び圧延成形業並びに 粉末冶金業 (2591)		電子部品及び基板 製造業 (2610)		
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	人格と人の安全保障	紛争									
		現代の奴隷制度								●●	
		児童労働									●●
		データのプライバシー									
		自然災害									
	健康と安全	健康と安全		●		●		●		●	
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	水									
		食糧									
		エネルギー									
		住居								●	
		健康と衛生									
		教育									
		移動手段									
		情報								●	
		コネクティビティ								●	
		文化と伝統									
	ファイナンス										
	生活	雇用		●		●		●		●	
		賃金		●	●●	●	●●	●	●●	●	●●
		社会的保護			●		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等									
		民族/人種の平等									
		年齢差別									
		その他の社会的弱者									
社会経済	強力な制度、平和、安定	法の支配									
		市民的自由									
	健全な経済	セクターの多様性									
		零細・中小企業の繁栄	●		●				●		
	インフラ	インフラ					●●				
経済収束	経済収束										
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●		●		●		●	
	生物多様性と健全な生態系	水域		●		●		●●		●	
		大気		●		●		●		●	
		土壌									
		生物種									
		生息地									
	サーキュラリティ	資源強度		●●		●●		●●		●●	
		廃棄物		●		●		●		●●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社・川下の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応するSDGsターゲットを整理する。  
川上の事業は、同社が与える影響が小さいことから省略する。

	大分類	インパクトエリア	インパクト		取組内容	対応するSDGs	
			PI	NI			
同社	社会	健康と安全	健康と安全		○	「健康経営優良法人」の認定取得や、BCP策定による、安心して働ける職場環境を整備する予定である。 有給休暇の取得推進により、ワークライフバランスの充実に取り組んでいる。	8.8
		生活	雇用		○	技能検定技能等、業務に関する資格の取得に関する受験料の会社負担や報酬を支給している。	8.6
			賃金		○	賃金のベースアップ、昇給を積極的に実施し、利益を従業員に還元している。	8.5
	社会経済	インフラ	インフラ		○	国内で「高速精密プレス機」を製造できる会社は限られており、取引先の要望に応じたオーダーメイドで対応ができる。 最先端設備で検査し、精度の高い部品のみを採用する徹底した品質管理を行っており、顧客ニーズに応えることができる。	9.1
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	2023年にSBTを取得し、使用電力を再エネ由来の電力へ切り替え、営業車両のハイブリッド車・EVへの切り替え等を通じて、CO <sub>2</sub> 排出量削減に取り組んでいる。	7.2 13.2
		サーキュラリティ	廃棄物		○	取扱説明書取のデジタル化等、ペーパーレス化に取り組んでいく方針である。	12.5
	川下	社会経済	健全な経済	インフラ		○	EV化やIOTの進展により、製品部品の小型化・軽量化が求められる中で、同社のプレス機は高精度・微細加工のニーズに対応できる性能を備えている。

※同社の「インフラ」のPIは、同社固有のインパクトとして追加する。

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いため、評価対象外とした。

#### (4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

### 環境（Environment）

#### 環境に配慮した経営の推進

- 同社は、2023年にSBT認証を取得し、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいる。具体的には、自社で使用する電力を再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えているほか、今後はトラックを除くすべての営業車をEVまたはHVへ順次更新していく方針である。
- 紙媒体で配付していた取扱説明書をデジタル化するとともに、ITツールを導入して図面の電子化を進めるなど、ペーパーレス化にも取り組んでいる。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 7.2：2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
  - 12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
  - 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

### 社会（Social）

#### 高品質な製品の拡大と自動車業界への更なる進出

- 同社は、創業当初から「精密で高性能な高速プレス技術」を追求し、独自構造の開発を通じて多様な産業へ高い信頼性を持つソリューションを提供している。
- 同社は、これまで小型部品向けの高精密プレス機を主力としてきたが、顧客ニーズの多様化や加工技術の高度化を背景に、金型・工具・ソフトウェアを含めた総合的なソリューション提案へと領域を広げつつある。今後は自動車部品向けの比率を40%まで高め、従来より加圧能力の大きいプレス機の製造にも注力していく方針である。さらに、重要部品の内製化を進めるため加工課を新設し、専属技術者を採用するなど、精度向上と生産効率向上に向けた体制強化を進めている。
- 同社が製造する高速精密プレス機は、高精度な加工技術により、電子機器に不可欠な微細部品から高い耐久性が求められる自動車部品まで、品質と生産性を両立する部品供給を可能にしており、日常生活や産業インフラの発展に大きく貢献している。
- このインパクトは「インフラ」のカテゴリに該当し、社会経済面のPIを拡大すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 9.1：全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

### **働きがいのある職場環境の構築**

- 同社は、人材育成に力を注ぎ、業務に有用な一級・二級技能士などの資格取得を積極的に支援している。社内に資格保有者が多く、先輩社員が主導する勉強会を通じて受験準備をサポートしているほか、受験費用は会社負担とし、合格者には報奨金を支給する制度を整備している。また、OJT 体制の充実に加え、インターネットを活用した外部勉強会への参加も推奨し、社員が新しい知識やトレンドを継続的に吸収できる環境を提供している。
- 人事評価制度として代表者や部長との定期的な個人面談を実施し、目標設定や成長の振り返りを行う機会を確保している。働きやすい職場づくりにも取り組んでおり、忘年会や社員旅行などのイベントを通じ、社員間のコミュニケーション活性化や一体感の醸成を図っている。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。  
8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

## **企業統治 (Governance)**

### **安全な職場環境の提供**

- 同社は、従業員が心身ともに安全で働きやすい環境を整備するため、有給休暇の拡大や、「健康経営優良法人」認定を取得した。
- 労働災害防止対策として、作業に関する現場講習や毎朝のラジオ体操に取り組んでおり、重大な労働事故は発生していない。
- 今後は、南海トラフ地震やゲリラ豪雨などの自然災害発生に備え、BCP を策定し、安心して働ける職場環境の整備を進めていく方針である。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。  
8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「7. すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「7、8、9」において課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 愛知県におけるインパクトニーズ

- 愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

■本県の主な施策（各ゴール（目標）の達成に向けた主な取組） ※下線は新規・拡充箇所

<p><b>1 生活</b> あらゆる場所のあらゆる形態の差別を終わらせる</p> <p>◆生活困窮者自立支援事業【拡充】 福祉相談センターの新設支援員、フットリッチ支援員、住まい相談支援員による包括的な相談支援</p> <p>◆母子家庭等の自立支援対策 ひとり親家庭等に対する就業支援、日常生活支援</p> <p>◆子どもが輝く未来基金事業【拡充】 児童養護施設等で生活する児童の大学進学や運転免許取得に要する費用の支給、子ども食堂の開設、物産展等の支援</p> <p>◆子どもの学習・生活支援事業 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や授産所の提供</p>	<p><b>2 食</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p> <p>◆あいち農業イノベーションプロジェクト 産学官共同研究開発とスタートアップ等との共同研究開発、生産現場を活用した新技術の開発及び成果の社会実装の促進</p> <p>◆いもいもあいち運動の推進 地産地消の推進や県産農林水産物のブランド力強化</p> <p>◆畜産農業の推進【新規】 有機農業への転換支援と産地づくりの推進</p> <p>◆森林漁業者確保推進事業【新規】 就業支援プラットフォームの整備</p>	<p><b>3 健康</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> <p>◆運動の支援体制整備事業 市町村における分野を超えた包括的な支援体制の整備に対する支援</p> <p>◆健康長寿あいちの推進 あいち健康マイレージの推進、生活習慣病対策の総合的推進</p> <p>◆あいちデジタルヘルスプロジェクト 産学官連携による先行事業の実施、新たなサービスの創出支援</p> <p>◆高齢病弱事業 がんセンターにおける MD アンダーフックがんセンターとの連携事業の実施</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症対策【拡充】 ワクチンの副反応や重症後遺症に関する相談窓口の設置、研修会の実施</p>
<p><b>4 教育</b> すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>◆少人数学級の拡充 小中学校全学年、中学校第1学年での35人学級の実施</p> <p>◆中高一貫教育の導入 中高一貫校の整備、国際バカロレアの導入（3校）</p> <p>◆ICT教育の推進 ICT支援員の配置、民間学習支援サービスの活用</p> <p>◆多様な学習ニーズへの対応 フレキシブル・イースト及び民間中学の設置</p> <p>◆外国人生徒等支援員配置事業 外国人生徒等支援員の配置、小型通訳機の配備</p>	<p><b>5 社会</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p> <p>◆女性の活躍促進事業 女性の活躍促進ワークショップ 2025 及び女性管理職養成セミナーの開催</p> <p>◆女性の活躍機会取組支援事業【拡充】 あいち女性輝きカンパニーの認定、中小企業向けセミナー及び相談会の実施、男女間の資金差の解消公表企業の優良事例の発信</p> <p>◆女性の活躍能力向上推進事業【拡充】 単身赴任者に対するケア出張型によるあいち女性輝きカンパニーの PR、SNS による情報発信、キャリアアップ研修/外出研修の開催</p> <p>◆子育て女性再就職支援事業 あいち子育て女性再就職サポートセンターの運営</p>	<p><b>6 水</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> <p>◆水道事業の運営、施設の整備 都市部が行う水道事業への水利用者の供給及び水施設の整備</p> <p>◆流域下水道事業の運営、施設の整備 流域下水道の質と水量及び処理量の整備、運営</p> <p>◆上下水道事業の効率的な運営 施設の効率化及び管理の一元化に向けた検討、一体化する組織形態の検討、モデルケースにおける効果検証</p> <p>◆合併処理浄化槽への転換 単独処理浄化槽又は汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換の促進</p> <p>◆大府三川水源地域公営化の事業費の負担 水質三川の水源地域の森林整備、上流域への水源地の造成</p>
<p><b>7 エネルギー</b> すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> <p>◆水素・アンモニアサプライチェーンの推進【新規】 水素・アンモニアサプライチェーンの構築、普及啓発、水素貯蔵、非燃焼型水素エンジン等の実証事業</p> <p>◆水素モビリティの導入促進【新規】 水素ステーションの整備への支援、燃料電池自動車導入・燃料費支援</p> <p>◆低炭素水素モデルタウン実証事業 水素ステーションを配置した民間施設への水素供給の実施</p> <p>◆公共分野水素導入促進事業【新規】 公共分野の水素需要の創出と普及支援を実施</p> <p>◆次世代バッテリー推進事業【拡充】 産学官共同研究の推進に向けたプラットフォームの整備、人材育成のための産学官共同コンテスト、実証事業</p>	<p><b>8 経済</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p> <p>◆産業競争力強化減税基金事業【拡充】 基金への拠出額を増加し、県外企業の新規立派、県内企業の再投資、研究開発や実証実験を支援</p> <p>◆中小企業 ROP 決定支援【新規】 ROP 審査会での決定支援、セミナーの開催</p> <p>◆多様な人材の活躍促進 若年者、障害のある人、高齢者、外国人等の雇用促進に向けた相談対応</p> <p>◆中小企業の人材確保支援 人材確保に向けた魅力発信及びマッチングの支援、奨学金返還支援</p> <p>◆林業改革の推進 愛知県林業改革推進マスター企業の認定、あいち林業の日の啓発、ターゲティングの推進、あいちスギ振興キャンペーンの実施</p>	<p><b>9 産業</b> 強靱（レジリエント）なインフラ構造、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> <p>◆リニア中央新幹線の推進 名古屋駅スーパーターミナル化の推進、名古屋駅からの40分交通圏実現を目指す取組</p> <p>◆中部国際空港の将来構想の推進 中部国際空港の再整備計画に対する支援、将来構想実現に向けた国への働きかけ</p> <p>◆STATION AI プロジェクト推進事業【拡充】 STATION AI プロジェクトの推進</p> <p>◆革新事業認定戦略推進事業【拡充】 官民連携によるイノベーションプロジェクトの創出に向けた検討・支援、STATION AI による効果検証</p> <p>◆あいちモビリティイノベーションプロジェクト ドローンや空飛ぶクルマの社会実装に向けた実証実験、調査</p>
<p><b>10 社会</b> 各国内及び国際間の不平等を正す</p> <p>◆障害者地域移行推進事業 グループホームでの障害者、地域生活を体験する機会の提供</p> <p>◆障害者芸術文化活動推進事業 あいちアム・プロ・アクト普及啓発プロジェクトの開催、障害のある人の芸術文化活動を支援する人材の育成</p> <p>◆外国人県民日本語教育推進事業 あいち県民日本語教育研修センターの運営、オンライン日本語教室の実施</p> <p>◆多文化共生社会づくりの推進 多文化共生情報発信、愛知県英語多言語支援センターの運営</p> <p>◆人権啓発推進 人権に関する相談対応、講演会、ワークショップの実施、愛知県アム・プロ・アクト普及啓発の運用・普及啓発</p>	<p><b>11 防災</b> 包摂的かつ安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p> <p>◆愛知県基幹的広域防災拠点整備事業 大規模災害時に全県からの避難者等を円滑に受け入れ、被災現場等に供給する拠点の整備</p> <p>◆民間住宅・建築物の耐震・耐風対策の促進【拡充】 住宅、建築物の耐震・耐風対策のための調査、指導員派遣、改修費用への補助</p> <p>◆スタートアップ活用まちづくり支援事業【新規】 市町村とスタートアップ等とのマッチング及び実証実験の支援</p> <p>◆東三河「新しい人の流れによる新たな魅力と価値」創造事業 大都市の企業や人材を対象とした関係人口の創出及び移住、定住の促進</p> <p>◆IG アリーナ（愛知県国際アリーナ）の整備・運営 PFI手法による整備、運営</p>	<p><b>12 消費</b> 持続可能な生産消費形態を確保する</p> <p>◆ワーキュラーエコノミーの推進 ワーキュラーエコノミー型ビジネスの普及支援、先端的で効果的な施策の導入への支援</p> <p>◆プラスチックごみ、食品ロスの削減【拡充】 プラスチックごみ削減の取組を体験した PR 課による SNS での情報発信、食品ロス削減型プロジェクトの実施</p> <p>◆あいちエコアクション・ポイントの推進 省エネルギー省資源につながる環境配慮行動に対するあいちエコアクション・ポイントの発行</p> <p>◆エシカル消費の推進 産学官共同型エシカル消費の推進や SNS を活用した情報発信</p> <p>◆公共工事におけるリサイクル資材の利用促進 愛知県リサイクル資材評価制度（あいくる）の運用</p>
<p><b>13 気候</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> <p>◆地球温暖化対策の推進 あいちカーボンプリキョー換算会議の開催、中小企業の脱炭素経営の支援、再エネ設備、省エネ設備の導入支援、気候変動対策の普及支援、各種メタン削減に向けた実証実験の実施</p> <p>◆脱炭素プロジェクトの推進【拡充】 カーボンプリキョープロジェクト、物流脱炭素化プロジェクト、ゼロエミッション工場普及促進プロジェクト、地産地消型 SAF カーボンプリキョー削減プロジェクトの支援</p> <p>◆天作川・豊川カーボンプリキョー削減プロジェクトの推進 脱炭素協議会による総合的なマネジメント、施設整備の推進</p> <p>◆空港における脱炭素の推進 県営名古屋空港における太陽光発電設備導入の検討</p>	<p><b>14 海洋</b> 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> <p>◆あさりとさかな漁獲総合整備事業 あさりとさかなの生産・出荷の促進、さかな漁場となる魚船漁場の整備</p> <p>◆貝殻埋め立て造成事業 浅海域のあさり漁場における砕石を利用した貝殻埋め立て造成</p> <p>◆養殖業導入促進事業【拡充】 あさりやさかなの養殖技術の実証実験の実施及び当該技術を活用した養殖業を始める産地に対する支援</p> <p>◆沿岸資源等活用まちづくり推進事業 沿岸資源等活用まちづくりの普及啓発、市町村が実施する回収・処理や普及啓発に対する支援</p>	<p><b>15 陸地</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を防止する</p> <p>◆生物多様性保全の推進 ユネスコによる保全活動の支援、事業者の保全活動の促進、自然共生サイトへの申請支援、都市部緑地の保全、民間の取組の支援</p> <p>◆森林の適切な維持・管理 森林、山山場の整備・保全、スマート林業の推進、森林クレジット制度の活用促進</p> <p>◆県産木材の利用促進 県産木材を利用した PR 効果の高い民間施設等への支援</p> <p>◆東三河森林空間活用事業 森林空間を活用した新たなサービスの創出、森林創生の導入に向けた調査</p>
<p><b>16 平和</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> <p>◆安全なまちづくりの推進 安全なまちづくり市民運動の実施、自主防犯団体の設立・拡充支援、自主防犯団等と連携した特殊防犯対策の実施、防犯対策設備、機器の購入等の支援、犯罪被害者等の支援</p> <p>◆児童虐待対策の推進 SNS を活用した相談、弁護士との連携による相談体制の強化、若手職員に対する実践力強化及び司直面接技術の習得、向上のための研修の実施</p> <p>◆警察活動の充実 犯罪の防止、交通死亡事故の抑止及び暴力団対策に関する取組の推進、SNS 予防警察官自動化システムの運用</p>	<p><b>17 パートナーシップ</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる</p> <p>◆多様な主体による SDGs の取組促進 SDGs 実践研修の活用、SDGs 登録企業等交流会の開催、NPO と企業・大学等のマッチング支援</p> <p>◆SDGs 推進フェアの開催【拡充】 「SDGs 子ども・ユースフェア〜アジアの環境のために〜」の開催</p> <p>◆「愛・地球博 20 年」の開催【新規】 愛知万博の理念・成果の継承を目的に、展示イベントを開催</p> <p>◆国際芸術祭「あいち2025」の開催 県民及び県外民に対して国際的な芸術祭を開催</p> <p>◆第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の開催準備 大会の開催に向けた準備、大会を契機としたアジア各国・地域との交流促進の取組実施</p>	<p>愛知県の SDGs を応援するよ</p>  <p>あいち SDGs アンバサダー</p>

③ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題 (マテリアリティ)
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
高品質な製品の拡大と自動車業界への更なる進出	地域経済の持続的成長
働きがいのある職場環境の構築 安全な職場環境の提供	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

### 3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

#### 環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・製造ラインの設備更新や環境対応車導入等により、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2021 年度比 42%削減する (2021 年度温室効果ガス排出量：348.31t-CO<sub>2</sub>)</li> <li>・2029 年度までにトラックを除く自社車両のうち、70%以上を環境対応車 (EV・HV 等) にする (2024 年度実績：39%【全 18 台中 7 台が HV】)</li> </ul>

### 高品質な製品の拡大と自動車業界への更なる進出

項目	内容
インパクトの種類	社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「インフラ」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたり培ってきた同社プレス機械への信頼を礎に自動車業界向け製品を拡大し、多様化する需要に応じていく</li> <li>・南海トラフ地震や豪雨水害等を想定した BCP 体制を確立し、災害時の製品の安定供給・安全確保に努める</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2029 年度までに、売上高を 20 億円以上にする (2024 年度実績：18.6 億円)</li> <li>・2029 年度までに、家電業界向けの売上高を維持しつつ自動車業界向けの売上高を 7.5 億円以上にする (2024 年度実績：5.6 億円)</li> <li>・2026 年度までに BCP を策定し、毎年 1 回以上全従業員を対象とした研修や訓練を実施する</li> </ul>

### 働きがいのある安全な職場環境の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「健康と安全」「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT や資格取得支援を通じて、組織全体で一層の技術向上に取り組む</li> <li>・新たな制度休暇導入等により有休取得促進を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現と健康経営の推進に取り組む</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2029 年度までに技能検定合格者（一級技能士および二級技能士取得者）を 12 名以上にする (2024 年度実績：一級技能士 4 名、二級技能士 5 名)</li> <li>・2029 年度までに平均有給休暇取得日数を 14 日以上にする (2024 年度実績：11.8 日)</li> </ul>

#### 4. モニタリング

##### (1) 株式会社アイシスにおけるインパクトの管理体制

- 同社では、内藤社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を内藤社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

##### (2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

**【留意事項】**

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。